

INFO 1

Pâtisserie Ruelle 新年のご挨拶とバレンタインのご案内

昨年はお客さまの方にご来店いただき、誠にありがとうございました。お客様からはありがたいお言葉をたくさんいただき、スタッフの励みとなりました。今後もより良いお店作りを目指してスタッフ一同取り組んでまいります。今年もRuelleをよろしくお願いいたします。

さて、もうすぐバレンタインですね。当店ではチョコレートを使用したケーキ、焼き菓子などバレンタイン限定の商品が並ぶ予定です。大切な人への贈り物に、日頃頑張っている自分へのご褒美に、バレンタインスイーツはいかがでしょう。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



INFO 2

ぺこぺこのはたけ

新年を迎え、季節の移ろいを感じさせる、今月の小鉢御膳

新年あけましておめでとうございます。今年も豪雪が予想される季節がやってきましたが、ぺこぺこのはたけは今年も冬季営業を行っております。いつもよりお食事の数を少なくしてご用意させていただきますので、ご来店の際は一度お店までお電話くださいようお願いいたします。

さて、一月の小鉢御膳は秋から冬にかけて大活躍のカボチャを使った南瓜スープや6種類もの木の子をじっくり煮込んだフリカッセ、そしてこの時期から春にかけて旬を迎える芹と三つ葉のお浸しなど、季節の移ろいを感じさせる料理をたくさん味わうことのできる御膳となっております。新年を迎えるにふさわしい今月の小鉢御膳、ぜひともお召し上がりくださいませ。



ぺこぺこのはたけ
TEL 0133-27-6440

INFO 3

北海道の米と汁 U-gohan 東大正門

多くのお客様にご利用頂いた1年でした。

昨年の今頃は週2~3日のみの営業でしたが、4月からは平日毎日営業し、あっという間に1年が経とうとしています。コロナの影響で最初は不安でいっぱいでしたが、徐々に認知されるようになり、今では多くのお客様にご利用頂いております。当店はリピート率が大変高く、お客様との他愛もない会話も魅力の一つか！また、新メニューの反響も大きく、特に「蒸し鶏チーズの春巻弁当」は毎回売切れに!!じっくり火を入れサツマイモの甘さを最大限に引き出した「焼き芋ポターージュ」や、野布瀬農場のジャガイモが入った「野菜たっぷりミネストローネ」など、スープも好評を頂いております。今年は昨年以上に、より多くのお客様に喜んで頂けるお店にしていきたいと思っております。



焼き芋ポターージュ



春巻き弁当

Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

●社会福祉法人への寄付について

- 1 個人の場合 2 法人の場合 3 相続による寄付の場合

所得税の寄付金控除または税額控除が受けられます。

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

租税特別措置法により相続税が非課税となることがありますのでご相談ください。
※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。

税額控除対象法人の決定について

この度、皆さまから頂いた多大なるご厚志のお陰で、2022年度より税額控除法人となりました。今後も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからのご寄付を受け付けています。超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切にする福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
<https://yu-yu.or.jp/contact/>



YOU YOU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



苫小牧市東開文化交流サロン



12月1日、遂にグランドオープン!

夏から秋にかけての「サロンづくりサロン」や研修会など、さまざまな準備を経てついに、苫小牧市東開文化交流サロンがオープンしました。

全国的にも珍しい、図書機能と福祉拠点機能を兼ね備えた、苫小牧市の公共施設としては初となる共生型地域福祉拠点であるサロン。初日から多くの方々に足をお運び頂きました。

12月3日にはオープニング記念イベントとして、ブックコーディネーターの内沼晋太郎氏をお招きしてワークショップを開催。10代から60代まで幅広い年齢の方々がそれぞれに本との出会いを楽しみ、「多様な人々が能動的にかかわる図書室」を体感しました。そのほか、12月中には映像に触れて楽しむ「オミ・ビスタ」体験会を計4回開催したり、ボランティアさんによる読み聞かせ&弦楽コンサートが開催されたりと、お子さんたちを中心に楽しく体験し遊び回る様子が日々見られました。イベントのみならず、サロンには、札幌の有名店「パフェ佐藤」監修によるメニューを提供する「パーラー東開町2丁目」や、新たな価値観との出会いの場であるギャラリースペース、自由な交流を楽しめるパブリックスペースや多目的ホールなど、たくさんの魅力的な機能があります。何よりの魅力は、苫小牧で新たに出会った年代も経験も多様なスタッフたち。カフェや見守り支援、図書スタッフとして、あるいは就労継続支援の利用者として、人との交流をデザインし、他者に寛容になれる人とまちづくりを行うサロンを彩っています。年末にはスタッフ全員で1カ月の振り返り会を実施。良かった点・改善点・これからのチャレンジを皆で語りました。

まだよちよち歩き、いや、生まれたての赤ちゃんのようなサロンですが、「あれやりたい」「こうしたい」を地域のみなさんとも語り合いながら、一日一日を大事に、これからも歩いていきます。



若者 × 地域 盛り上げたい! 当別町!

当別にお住いの方なら、知る人ぞ知る田中ビル。カラオケのできる「JBOX」に若者が良く出入りしていた場所です。昔を知らないゆうゆう職員が、空き店舗を活用して「何かしたい」と集まっています。「地域の色々な世代の方が来れる場所があるといいよね」「遊びを通じて誰かと出会っていききたい」など意見を交わし、オーナーや関係者との忘年会に参加するなどじわりじわりと当別愛を深めています。

この空き店舗をめぐる、北海道医療大学福祉マネジメント学科3年生も授業を行っています。この場所に青春の思い出のある大原理事長や、商店街を軸に街づくりを実践している方を講師に、「飲み会ってどんな感じだったのか」「地域や学生は何を求めているのか」と若者らしい問いをぶつけ地域づくりや社会的起業について授業を受けました。今後ゆうゆう職員と一緒に参加したい学生さんとも取組みを進めていきます。

自分たちが住む・働く・学ぶ町がどんな町なのか、どんな方が何ができるのか、改めて「当別」を考える機会となっています。2月からオーナーである建設会社の社長さんと地域の方で異業種交流と学びの場を作っていく、皆さんに教えていただきながら、地域を学校に成長していきます。「何か」一緒に!と思う方はどうぞお声がけください。応援宜しくお願い致します!



野布瀬のTreeが各地域へ

クリスマスが近づいてきた頃、野布瀬の担当者が森で伐採したトマツを当別のamaririsu、ぺこぺこのはたけ、江別のわたなべストア、苫小牧の東開文化交流サロンへ届けてくれました。それぞれに装飾を施し、加工された手作りの木の飾りには、サンタクロースへ向けたいご要望を記しているものもありました。どこか夏の催しが交錯しておりますが、そこはご愛嬌。いずれも素敵なクリスマスTreeが完成しました!子どもたちのみならず、商店街を行き交う地域住民や図書室に訪れた方々の目にも留まり、共にクリスマスを味わえる空間となりました。サンタクロースが去った後はトマツがミズキに入れ替わり、お正月の装飾が施されて、これまた趣のある存在となっています。



地域生活を支えるということ

年の瀬、地域生活支援部の職員のもとに嬉しい写真が送られてきました。大学に通っている利用者が同級生と満面の笑みで写っている写真。新型コロナウイルスが流行してから大学生生活が始まったこともあり、こうして同級生と外出したのは初めてのことでした。私たちのサービスを利用している大学生は現在2名います。それぞれ新千歳空港までお送りし、実家に帰省しました。

利用者のなかには、年末年始、関係なく、健康を維持するために通院が必要な方や、家事(生活)援助が必要な方もいます。グループホームを利用されている方々も、一人、また一人と帰省しますが、同日に全ての利用者が利用しない日はありません。私たち地域生活支援部が担当しているサービスは一年365日必要であり、それが地域での暮らしを支えることだと思っています。今年も、引き続き、新型コロナウイルスの感染対策を実施しながら、皆さんに喜んでもらえるサービス提供ができるよう尽力します。



当別神社で初詣



お正月飾りの購入

アール・ブリュットショウケース2022 オンライン「舞台に上がれ!」

今年度で5回目となる「ショーケース」は、北海道・青森県・岩手県・秋田県で音楽や演劇、ダンスなどステージに関する芸術文化活動を行う障がいのある人たちのための発表会です。

コロナ禍をきっかけに始まったYouTubeチャンネルでの動画配信は3回目となりました。

今回は、公募部門13組、招待部門4組、計17組がそれぞれの場所から工夫を凝らした素敵なステージを届けてくれました。ぜひご覧ください。



NPO法人 舞いダンスチーム「アフリカダンス」

- 公開開始
2023年1月21日(土)~
- 配信場所
YouTubeチャンネル



アールブリュット
推進センター
Gently

障がい者スポーツで当別から全国へ

10月末に栃木県で開催された「第22回全国障がい者スポーツ大会」に、ゆうゆうの生活介護や就労支援を利用している2名の方が出場しました。都道府県・指定都市選手団の約5,640名が全国から集まり、3日間に及ぶ大会となりました。

中学生から始めたフライングディスク(障がい者スポーツ)の北海道選手として大会へ出場した石川泰地さんは、北海道障がい者スポーツ協会や栃木県のボランティアの方々に支えられ、無事に出場できたことが大きな自信となったそうです。また、たくさんの人からの応援メッセージを録音したボイスレコーダーが、宝物でもあり、大会の励みになったとのことでした。「障がい者スポーツを多くの人に広めていきたい」という目標に向けて、今回の課題点を改善しながら、今後も大会への出場を考えているそうです。

